

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第9週（令和7年2月24日～令和7年3月2日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- 第9週は、今年1例目となるE型肝炎の報告がありました。本疾患は、E型肝炎ウイルスに汚染された水や氷、野菜や果物、肉類（特に、ブタ、イノシシ、シカ等）を生で食べることによって感染します。潜伏期間は、15～50日間（平均6週間）程度で、発熱、全身倦怠感、食欲不振、吐き気・嘔吐等の症状が見られ、数日後に眼球や皮膚が黄染する等の症状が見られます。症状が軽い場合もありますが、妊婦では通常よりも重症化することがあります。特別な治療法やワクチンはありません。感染予防のために、トイレの後や調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。また、肉類は生食を避け、中心部分まで十分に加熱しましょう。
- 福岡県感染症情報ホームページ(https://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	10	112	223	1,792
腸管出血性大腸菌感染症	1	8	27	212
E型肝炎	1	1	8	51
A型肝炎	1	4	2	18
レジオネラ症	1	9	26	237
アメーバ赤痢	1	5	6	61
後天性免疫不全症候群	1	3	7	104
侵襲性肺炎球菌感染症	1	30	51	843
梅毒	12	147	146	1,828
百日咳	13	142	358	1,888

■ 定点把握疾患報告数

警報レベル

注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	1,010	5.13	0.87	24,343	4.95
インフルエンザ	345	1.75	1.06	10,866	2.21
RSウイルス感染症	280	2.35	1.08	3,775	1.21
咽頭結膜熱	26	0.22	0.42	909	0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	408	3.43	0.83	7,616	2.44
感染性胃腸炎	1,622	13.63	1.06	32,220	10.32
水痘	32	0.27	0.74	833	0.27
手足口病	9	0.08	1.13	174	0.06
伝染性紅斑	24	0.20	0.80	1,744	0.56
突発性発しん	40	0.34	1.48	623	0.20
ヘルパンギーナ	2	0.02	—	17	0.01
流行性耳下腺炎	3	0.03	0.75	100	0.03
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	20	0.03
流行性角結膜炎	4	0.15	0.50	565	0.82
細菌性髄膜炎	0	0.00	—	11	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	—	15	0.03
マイコプラズマ肺炎	5	0.33	1.00	178	0.37
クラミジア肺炎	0	0.00	—	3	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	3	0.20	1.00	52	0.11

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。